



Catalyst 3750 Metro スイッチ debug コマンド

この付録では、Catalyst 3750 Metro スイッチ用に作成または変更された **debug** 特権 EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立ちます。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート担当者の指示に従ってください。



注意

デバッグ出力には、CPU プロセスで高いプライオリティが与えられるので、システムが使用不能になる可能性があります。したがって、**debug** コマンドを使用するのは、特定の問題のトラブルシューティング時、またはシスコのテクニカル サポート担当者とともにトラブルシューティングを行う場合に限定してください。**debug** コマンドは、ネットワーク トラフィックが少なく、ユーザも少ないときに使用するのが最良です。このような時期を選んでデバッグを実行すると、**debug** コマンドの処理の負担によってシステム利用が影響を受ける可能性が少なくなります。

debug auto qos

Automatic Quality Of Service (Auto-QoS) 機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug auto qos** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug auto qos

no debug auto qos

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト Auto-QoS デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。
	12.2(25)EY	debug autoqos コマンドは debug auto qos コマンドに置き換えられました。

使用上のガイドライン Auto-QoS がイネーブルのときに自動的に生成された QoS (Quality Of Service) コンフィギュレーションを表示するには、Auto-QoS をイネーブルにする *前に* デバッグをイネーブルにします。**debug autoqos** 特権 EXEC コマンドを入力するとデバッグをイネーブルにすることができます。

undebug autoqos コマンドは、**no debug autoqos** コマンドと同じです。

例 次の例では、Auto-QoS がイネーブルになったときに自動的に生成される QoS コンフィギュレーションを表示する方法を示します。

```
Switch# debug autoqos
AutoQoS debugging is on
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# interface gigabitethernet1/0/1
Switch(config-if)# auto qos voip cisco-phone

21:29:41: mls qos map cos-dscp 0 8 16 26 32 46 48 56
21:29:41: mls qos
21:29:42: no mls qos srr-queue input cos-map
21:29:42: no mls qos srr-queue output cos-map
21:29:42: mls qos srr-queue input cos-map queue 1 threshold 3 0
21:29:42: mls qos srr-queue input cos-map queue 1 threshold 2 1
21:29:42: mls qos srr-queue input cos-map queue 2 threshold 1 2
21:29:42: mls qos srr-queue input cos-map queue 2 threshold 2 4 6 7
21:29:43: mls qos srr-queue input cos-map queue 2 threshold 3 3 5
21:29:43: mls qos srr-queue output cos-map queue 1 threshold 3 5
21:29:43: mls qos srr-queue output cos-map queue 2 threshold 3 3 6 7
21:29:44: mls qos srr-queue output cos-map queue 3 threshold 3 2 4
21:29:44: mls qos srr-queue output cos-map queue 4 threshold 2 1
21:29:44: mls qos srr-queue output cos-map queue 4 threshold 3 0
21:29:44: no mls qos srr-queue input dscp-map
21:29:44: no mls qos srr-queue output dscp-map
21:29:44: mls qos srr-queue input dscp-map queue 1 threshold 2 9 10 11 12 13 14 15
21:29:45: mls qos srr-queue input dscp-map queue 1 threshold 3 0 1 2 3 4 5 6 7
21:29:45: mls qos srr-queue input dscp-map queue 1 threshold 3 3 2
21:29:45: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 1 16 17 18 19 20 21 22 23
21:29:45: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 2 33 34 35 36 37 38 39 48
21:29:46: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 2 49 50 51 52 53 54 55 56
21:29:46: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 2 57 58 59 60 61 62 63
21:29:46: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 3 24 25 26 27 28 29 30 31
21:29:47: mls qos srr-queue input dscp-map queue 2 threshold 3 40 41 42 43 44 45 46 47
21:29:47: mls qos srr-queue output dscp-map queue 1 threshold 3 40 41 42 43 44 45 46 47
21:29:47: mls qos srr-queue output dscp-map queue 2 threshold 3 24 25 26 27 28 29 30 31
21:29:47: mls qos srr-queue output dscp-map queue 2 threshold 3 48 49 50 51 52 53 54 55
21:29:48: mls qos srr-queue output dscp-map queue 2 threshold 3 56 57 58 59 60 61 62 63
21:29:48: mls qos srr-queue output dscp-map queue 3 threshold 3 16 17 18 19 20 21 22 23
21:29:48: mls qos srr-queue output dscp-map queue 3 threshold 3 32 33 34 35 36 37 38 39
21:29:49: mls qos srr-queue output dscp-map queue 4 threshold 1 8
21:29:49: mls qos srr-queue output dscp-map queue 4 threshold 2 9 10 11 12 13 14 15
21:29:49: mls qos srr-queue output dscp-map queue 4 threshold 3 0 1 2 3 4 5 6 7
21:29:49: no mls qos srr-queue input priority-queue 1
21:29:49: no mls qos srr-queue input priority-queue 2
21:29:50: mls qos srr-queue input bandwidth 90 10
21:29:50: no mls qos srr-queue input buffers
21:29:50: mls qos queue-set output 1 buffers 10 10 26 54
21:29:50: interface GigabitEthernet1/0/1
21:29:50: mls qos trust device cisco-phone
21:29:50: mls qos trust cos
21:29:50: no queue-set 1
21:29:50: srr-queue bandwidth shape 10 0 0 0
21:29:50: srr-queue bandwidth share 10 10 60 20
```

関連コマンド

コマンド	説明
auto qos voip	QoS ドメイン内で Voice over IP (VoIP) の Auto-QoS を設定します。
show auto qos	自動 Auto-QoS 機能により生成された初期設定を表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug backup

Flex Link バックアップ インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、**debug backup** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug backup {all | errors | events | vlan-load-balancing}
```

```
no debug backup {all | errors | events | vlan-load-balancing}
```

シンタックスの説明	all	すべてのバックアップ インターフェイス デバッグ メッセージを表示します。
	errors	バックアップ インターフェイスのエラーまたは例外デバッグ メッセージを表示します。
	events	バックアップ インターフェイス イベントデバッグ メッセージを表示します。
	vlan-load-balancing	バックアップ インターフェイス VLAN (仮想 LAN) ロードバランシングを表示します。

コマンドのデフォルト設定 バックアップ インターフェイスのデバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)EY	このコマンドが導入されました。
	12.2(37)SE	vlan-load-balancing キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン **undebug backup** コマンドは、**no debug backup** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug cluster

クラスタ固有イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug cluster** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug cluster {discovery | events | extended | hsrp | http | ip [packet] | members | nat | neighbors |
platform | snmp | vqpxy}
```

```
no debug cluster {discovery | events | extended | hsrp | http | ip [packet] | members | nat | neighbors
| platform | snmp | vqpxy}
```

シンタックスの説明

discovery	クラスタ ディスカバリ デバッグ メッセージを表示します。
events	クラスタ イベント デバッグ メッセージを表示します。
extended	拡張ディスカバリ デバッグ メッセージを表示します。
hsrp	Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) デバッグ メッセージを表示します。
http	HTTP デバッグ メッセージを表示します。
ip [packet]	IP またはトランスポート パケット デバッグ メッセージを表示します。
members	クラスタ メンバー デバッグ メッセージを表示します。
nat	Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) デバッグ メッセージを表示します。
neighbors	クラスタ ネイバー デバッグ メッセージを表示します。
platform	プラットフォーム特定クラスタ デバッグ メッセージを表示します。
snmp	SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) デバッグ メッセージを表示します。
vqpxy	VLAN (仮想 LAN) Query Protocol (VQP) プロキシ デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、クラスタ コマンド スイッチでのみ実行できます。

undebug cluster コマンドは、**no debug cluster** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show cluster	スイッチが属するクラスタのステータスおよびサマリーを表示します。
show cluster candidates	コマンド スイッチ上で入力された場合に候補スイッチのリストを表示します。
show cluster members	コマンド スイッチ上で実行された場合にクラスタ メンバーに関する情報を表示します。

debug dot1x

802.1x 機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug dot1x** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug dot1x {all | errors | events | packets | registry | state-machine}
```

```
no debug dot1x {all | errors | events | packets | registry | state-machine}
```

シンタックスの説明

all	すべての 802.1x デバッグ メッセージを表示します。
errors	802.1x エラー デバッグ メッセージを表示します。
events	802.1x イベント デバッグ メッセージを表示します。
packets	802.1x パケット デバッグ メッセージを表示します。
registry	802.1x レジストリ呼び出しデバッグ メッセージを表示します。
state-machine	ステートマシン関連イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug dot1x コマンドは、**no debug dot1x** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show dot1x	スイッチまたは指定されたポートの 802.1x 統計情報、管理ステータス、および動作ステータスを表示します。

debug dtp

この Dynamic Trunking Protocol (DTP; ダイナミック トランキング プロトコル) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug dtp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug dtp {aggregation | all | decision | events | oserrs | packets | queue | states | timers}
```

```
no debug dtp {aggregation | all | decision | events | oserrs | packets | queue | states | timers}
```

シンタックスの説明	aggregation	DTP ユーザ メッセージ アグリゲーション デバッグ メッセージを表示します。
	all	すべての DTP デバッグ メッセージを表示します。
	decision	DTP 決定テーブル デバッグ メッセージを表示します。
	events	DTP イベント デバッグ メッセージを表示します。
	oserrs	DTP オペレーティングシステム関連エラー デバッグ メッセージを表示します。
	packets	DTP パケット処理デバッグ メッセージを表示します。
	queue	DTP パケット キューイング デバッグ メッセージを表示します。
	states	DTP ステート 遷移 デバッグ メッセージを表示します。
	timers	DTP タイマー イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebg dtp** コマンドは、**no debug dtp** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show dtp	スイッチまたは指定されたインターフェイスの DTP 情報を表示します。

debug etherchannel

EtherChannel/Port Aggregation Protocol (PAgP; ポート集約プロトコル) シムのデバッグをイネーブルにするには、**debug etherchannel** 特権 EXEC コマンドを使用します。このシムは、PAgP ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のインターフェイスとなるソフトウェア モジュールです。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug etherchannel [all | detail | error | event | idb]

no debug etherchannel [all | detail | error | event | idb]

シンタックスの説明

all	(任意) EtherChannel デバッグ メッセージをすべて表示します。
detail	(任意) EtherChannel デバッグ メッセージの詳細を表示します。
error	(任意) EtherChannel エラー デバッグ メッセージを表示します。
event	(任意) 主な EtherChannel イベント デバッグ メッセージをデバッグします。
idb	(任意) PAgP インターフェイス記述子ブロック デバッグ メッセージを表示します。



(注)

linecard キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

キーワードを指定しない場合は、すべてのデバッグ メッセージが表示されます。

undebug etherchannel コマンドは、**no debug etherchannel** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show etherchannel	チャンネルの EtherChannel 情報を表示します。

debug ethernet service

イーサネット カスタマー サービス インスタンスのデバッグをイネーブルにするには、**debug ethernet service** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug ethernet service {all | api | error | evc [id evc-id] | instance [id id interface-id] | interface
interface-id] | interface [interface-id] | oam-mgr}
```

```
no debug ethernet service {all | api | error | evc [id evc-id] | instance [id id interface-id] | interface
interface-id] | interface [interface-id] | oam-mgr}
```

シンタックスの説明

all	イーサネット カスタマー サービスのデバッグ メッセージをすべて表示します。
api	イーサネット インフラストラクチャとクライアントとの相互作用に関するデバッグ メッセージを表示します。
error	イーサネット インフラストラクチャ サブシステムで発生したイーサネット カスタマー サービスのエラー メッセージを表示します。
evc	Ethernet Virtual Connection (EVC; イーサネット仮想接続) のデバッグ メッセージを表示します。
id evc-id	(任意) 特定の EVC ID に関連する EVC デバッグ メッセージを表示します。EVC ID に設定できる文字列は 1 ~ 100 文字です。
instance	イーサネット カスタマー サービス インスタンスに関連するデバッグ メッセージを表示します。
id id interface-id	(任意) 特定のイーサネット サービス インスタンス ID およびインターフェイスのイーサネット サービス インスタンス デバッグ メッセージを表示します。サービス ID に指定できる範囲は 1 ~ 4294967295 です。インターフェイスは物理インターフェイスです。
interface interface-id	(任意) instance キーワードのあとに入力すると、インスタンスのサービス インスタンス デバッグ メッセージを表示します。インターフェイス ID も入力する必要があります。
interface [interface-id]	すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスのイーサネット サービスのデバッグを表示します。
oam-mgr	インフラストラクチャのイーサネット Operation, Administration, and Maintenance (OAM) マネージャ コンポーネントに対するデバッグ メッセージを表示します。

コマンドのデフォルト設定

イーサネット サービス デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)SEG	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebg ethernet service コマンドは、**no debug ethernet service** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug interface

ポート関連アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug interface** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug interface {interface-id | null interface-number | port-channel port-channel-number |
                tunnel tunnel-interface | vlan vlan-id}
```

```
no debug interface {interface-id | null interface-number | port-channel port-channel-number |
                   tunnel tunnel-interface | vlan vlan-id}
```

シンタックスの説明

<i>interface-id</i>	指定した物理ポート (fastethernet1/0/3 など) のデバッグ メッセージを表示します。
null <i>interface-number</i>	スル インターフェイスのデバッグ メッセージを表示します。 <i>interface-number</i> は常に 0 です。
port-channel <i>port-channel-number</i>	指定した EtherChannel ポートチャネルのデバッグ メッセージを表示します。指定できる <i>port-channel-number</i> の範囲は 1 ~ 12 です。
tunnel <i>tunnel-interface</i>	指定した Distance Vector Multicast Routing Protocol (DVMRP) トンネルのデバッグ メッセージを表示します。指定できる <i>tunnel-interface</i> 番号の範囲は 0 ~ 64 です。
vlan <i>vlan-id</i>	指定した VLAN のデバッグ メッセージを表示します。指定できる <i>vlan id</i> の範囲は 1 ~ 4094 です。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

キーワードを指定しない場合は、すべてのデバッグ メッセージが表示されます。

undebug interface コマンドは、**no debug interface** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show etherchannel	チャネルの EtherChannel 情報を表示します。

debug ip dhcp snooping

DHCP スヌーピングのデバッグをイネーブルにするには、**debug ip dhcp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug ip dhcp snooping {mac-address | agent | event | packet}
```

```
no debug ip dhcp snooping {mac-address | agent | event | packet}
```

シンタックスの説明		
<i>mac-address</i>		指定した MAC アドレスを持つ DHCP パケットのデバッグ メッセージを表示します。
agent		DHCP スヌーピング エージェントのデバッグ メッセージを表示します。
event		DHCP スヌーピング イベントのデバッグ メッセージを表示します。
packet		DHCP スヌーピングのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug ip dhcp snooping** コマンドは、**no debug ip dhcp snooping** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug ip igmp filter

Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) フィルタ イベントのデバッグをイネーブ爾にするには、**debug ip igmp filter** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip igmp filter

no debug ip igmp filter

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug ip igmp filter** コマンドは、**no debug ip igmp filter** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブ爾になっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug ip igmp max-groups

Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) 最大グループ イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug ip igmp max-groups** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip igmp max-groups

no debug ip igmp max-groups

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug ip igmp max-groups** コマンドは、**no debug ip igmp max-groups** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug ip igmp snooping

Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) スヌーピング アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug igmp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug ip igmp snooping [group | management | router | timer]
```

```
no debug ip igmp snooping [group | management | router | timer]
```

シンタックスの説明	
group	(任意) IGMP スヌーピング グループ アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
management	(任意) IGMP スヌーピング管理アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
router	(任意) IGMP スヌーピング ルータ アクティビティのデバッグ メッセージを表示します。
timer	(任意) IGMP スヌーピング タイマー イベントのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug ip igmp snooping** コマンドは、**no debug ip igmp snooping** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	debug platform ip igmp snooping	プラットフォームに依存する IGMP スヌーピング アクティビティに関する情報を表示します。
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug ip verify source packet

IP ソース ガードのデバッグをイネーブルにするには、**debug ip verify source packet** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug ip verify source packet

no debug ip verify source packet

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug ip verify source packet** コマンドは、**no debug ip verify source packet** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug lacp

Link Aggregation Control Protocol (LACP) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug lacp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug lacp [all | event | fsm | misc | packet]
```

```
no debug lacp [all | event | fsm | misc | packet]
```

シンタックスの説明	
all	(任意) LACP デバッグ メッセージをすべて表示します。
event	(任意) LACP イベント デバッグ メッセージを表示します。
fsm	(任意) LACP 有限ステート マシン デバッグ メッセージを表示します。
misc	(任意) 各種 LACP デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) LACP パケット デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug lacp** コマンドは、**no debug lacp** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show lacp	LACP チャネル グループ情報を表示します。

debug mac-notification

MAC（メディア アクセス制御）通知イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug mac-notification** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug mac-notification

no debug mac-notification

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug mac-notification** コマンドは、**no debug mac-notification** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show mac address-table notification	すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対する MAC アドレス通知情報を表示します。

debug matm

プラットフォーム独立 MAC（メディア アクセス制御）アドレス管理のデバッグをイネーブルにするには、**debug matm** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug matm

no debug matm

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug matm** コマンドは、**no debug matm** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	debug platform matm	プラットフォームに依存する MAC アドレス管理に関する情報を表示します。
	show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug matm move update

MAC (メディア アクセス制御) アドレステーブル移行更新メッセージ処理のデバッグをイネーブルにするには、**debug matm move update** 特権 EXEC コマンドを使用します。

debug matm move update

no debug matm move update

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

リリース	変更内容
12.2(25)SED	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug matm move update** コマンドは、**no debug matm move update** コマンドと同じです。

コマンド	説明
mac address-table move update	スイッチの MAC アドレス テーブル移行更新機能を設定します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show mac address-table move update	スイッチの MAC アドレス テーブル移行更新情報を表示します。

debug monitor

Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ) 機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug monitor** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug monitor {all | errors | idb-update | info | list | notifications | platform | requests | snmp}
```

```
no debug monitor {all | errors | idb-update | info | list | notifications | platform | requests | snmp}
```

シンタックスの説明

all	すべての SPAN デバッグ メッセージを表示します。
errors	詳細 SPAN エラー デバッグ メッセージを表示します。
idb-update	SPAN Interface Descriptor Block (IDB) 更新追跡デバッグ メッセージを表示します。
info	SPAN 情報追跡デバッグ メッセージを表示します。
list	SPAN ポートおよび VLAN (仮想 LAN) リスト追跡デバッグ メッセージを表示します。
notifications	SPAN 通知デバッグ メッセージを表示します。
platform	SPAN プラットフォーム追跡デバッグ メッセージを表示します。
requests	SPAN 要求デバッグ メッセージを表示します。
snmp	SPAN および SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) 追跡デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug monitor コマンドは、**no debug monitor** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show monitor	スイッチ上の SPAN および Remote SPAN (RSPAN) セッションについてのすべての情報を表示します。

debug mpls atom

Any Transport over Multiprotocol Label Switching (AToM) レイヤのデバッグをイネーブルにするには、**debug mpls atom** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug mpls atom

no debug mpls atom



(注)

Catalyst 3750 Metro スイッチは、AToM のサブセットである Ethernet over MPLS (EoMPLS) をサポートしています。

シンタックスの説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

関連コマンド

コマンド	説明
debug mpls l2transport vlan	EoMPLS レイヤ 2 VLAN (仮想 LAN) のデバッグをイネーブルにします。
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug mpls l2transport vlan

Ethernet over Multiprotocol Label Switching (EoMPLS) レイヤ 2 VLAN (仮想 LAN) のデバッグをイネーブルにするには、**debug mpls l2transport vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug mpls l2transport vlan {control | distributed | switching}
```

```
no debug mpls l2transport vlan {control | distributed | switching}
```

シンタックスの説明	control	EoMPLS	トラフィック制御プレーンデバッグメッセージを表示します。
	distributed	EoMPLS	トラフィック配信スイッチング制御デバッグメッセージを表示します。
	switching	EoMPLS	トラフィック パケット スwitching デバッグメッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

関連コマンド	コマンド	説明
	debug mpls atom	Any Transport over Multiprotocol Label Switching (AToM) レイヤのデバッグをイネーブルにします。
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show mpls l2transport vc	Ethernet over MPLS Virtual Circuit (VC; 仮想回線) の情報を表示します。

debug mvrdbg

Multicast VLAN (仮想 LAN) Registration (MVR) のデバッグをイネーブルにするには、**debug mvrdbg** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug mvrdbg {all | events | igmpsn | management | ports}
```

```
no debug mvrdbg {all | events | igmpsn | management | ports}
```

シンタックスの説明	
all	すべての MVR アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
events	MVR イベント処理デバッグ メッセージを表示します。
igmpsn	Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) スヌーピング アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
management	MVR 管理アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
ports	MVR ポート デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebg mvrdbg** コマンドは、**no debug mvrdbg** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show mvr	現在の MVR 設定を表示します。

debug nvram

NVRAM（不揮発性 RAM）のアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug nvram** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug nvram

no debug nvram

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug nvram** コマンドは、**no debug nvram** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug pagp

Port Aggregation Protocol (PAgP; ポート集約プロトコル) アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug pagp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug pagp [all | event | fsm | misc | packet]
```

```
no debug pagp [all | event | fsm | misc | packet]
```

シンタックスの説明

all	(任意) PAgP デバッグ メッセージをすべて表示します。
event	(任意) PAgP イベント デバッグ メッセージを表示します。
fsm	(任意) PAgP 有限ステート マシン デバッグ メッセージを表示します。
misc	(任意) 各種 PAgP デバッグ メッセージを表示します。
packet	(任意) PAgP パケット デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebg pagp コマンドは、**no debug pagp** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show pagp	PAgP チャネル グループ情報を表示します。

debug platform acl

Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) マネージャのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform acl** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform acl {all | exit | label | main | racl | vacl | vmap | warn}
```

```
no debug platform acl {all | exit | label | main | racl | vacl | vmap | warn}
```

シンタックスの説明

all	すべての ACL マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
exit	ACL 終了関連デバッグ メッセージを表示します。
label	ACL ラベル関連デバッグ メッセージを表示します。
main	主要あるいは重要な ACL デバッグ メッセージを表示します。
racl	ルータ ACL 関連デバッグ メッセージを表示します。
vacl	VLAN (仮想 LAN) ACL 関連デバッグ メッセージを表示します。
vmap	ACL VLAN マップ関連デバッグ メッセージを表示します。
warn	ACL 警告関連デバッグ メッセージを表示します。



(注)

stack キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtring には表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform acl コマンドは、**no debug platform acl** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform cfm

イーサネット Connectivity Fault Management (CFM) サービスのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform cfm** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform cfm

no debug platform cfm

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)SEG	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン CFM は、エンドツーエンドのサービスインスタンス単位のイーサネット レイヤ Operation, Administration, and Management (OAM) プロトコルで、大規模イーサネット ネットワークに接続モニタ、障害検証、および障害隔離を提供します。

undebug platform cfm コマンドは、**no debug platform cfm** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform backup interface

Flex Link プラットフォーム バックアップ インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform backup interface** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform backup interface

no debug platform backup interface

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドのデフォルト設定 プラットフォーム バックアップ インターフェイスのデバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug platform backup interface** コマンドは、**no platform debug backup interface** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform cpu-queues

プラットフォーム CPU 受信キューのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform cpu-queues** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform cpu-queues {broadcast-q | cbt-to-spt-q | cpuhub-q | host-q | icmp-q |
  igmp-snooping-q | layer2-protocol-q | logging-q | remote-console-q | routing-protocol-q |
  rpffail-q | software-fwd-q | stp-q}
```

```
no debug platform cpu-queues {broadcast-q | cbt-to-spt-q | cpuhub-q | host-q | icmp-q |
  igmp-snooping-q | layer2-protocol-q | logging-q | remote-console-q | routing-protocol-q |
  rpffail-q | software-fwd-q | stp-q}
```

シンタックスの説明	
broadcast-q	ブロードキャスト キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
cbt-to-spt-q	core-based tree to shortest-path tree (cbt-to-spt) キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
cpuhub-q	CPU ハートビート キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
host-q	ホスト キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
icmp-q	Internet Control Message Protocol (ICMP; インターネット制御メッセージプロトコル) キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
igmp-snooping-q	Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネットグループ管理プロトコル) スヌーピング キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
layer2-protocol-q	レイヤ 2 プロトコル キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
logging-q	ロギング キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
remote-console-q	リモート コンソール キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
routing-protocol-q	ルーティング プロトコル キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
rpffail-q	Reverse Path Forwarding (RPF) 障害キューによって受信されたパケットに関するデバッグメッセージを表示します。
software-fwd-q	ソフトウェア フォワーディング キューによって受信されたパケットをデバッグします。
stp-q	Spanning-Tree Protocol (STP; スパニングツリープロトコル) キューによって受信されたパケットをデバッグします。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

■ debug platform dot1x

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebug platform cpu-queues` コマンドは、`no debug platform cpu-queues` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform dot1x

802.1x イベントのデバッグをイネーブルにするには、`debug platform dot1x` 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの `no` 形式を使用します。

```
debug platform dot1x {initialization | interface-configuration | rpc}
```

```
no debug platform dot1x {initialization | interface-configuration | rpc}
```

シンタックスの説明	initialization	interface-configuration	rpc
	802.1x 初期化シーケンス デバッグ メッセージを表示します。	802.1x インターフェイス コンフィギュレーション関連デバッグ メッセージを表示します。	802.1x Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 要求 デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebug platform dot1x` コマンドは、`no debug platform dot1x` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform etherchannel

プラットフォームに依存する EtherChannel イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform etherchannel** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform etherchannel {init | link-up | rpc-detailed | rpc-generic | warnings}
```

```
no debug platform etherchannel {init | link-up | rpc-detailed | rpc-generic | warnings}
```

シンタックスの説明

init	EtherChannel モジュール初期化デバッグ メッセージを表示します。
link-up	EtherChannel リンクアップおよびリンクダウンに関連したデバッグ メッセージを表示します。
rpc-detailed	詳細な EtherChannel Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージを表示します。
rpc-generic	EtherChannel RPC 総称デバッグ メッセージを表示します。
warnings	EtherChannel 警告デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform etherchannel コマンドは、**no debug platform etherchannel** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform fallback-bridging

プラットフォームに依存する代替ブリッジング マネージャのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform fallback-bridging** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform fallback-bridging [error | retry | rpc {events | messages}]

no debug platform fallback-bridging [error | retry | rpc {events | messages}]

シンタックスの説明	
error	(任意) 代替ブリッジング マネージャ エラー条件デバッグ メッセージを表示します。
retry	(任意) 代替ブリッジング マネージャ リトライ デバッグ メッセージを表示します。
rpc {events messages}	(任意) 代替ブリッジング デバッグ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> events — Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) イベントを表示します。 messages — RPC メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン キーワードを指定しない場合、すべての代替ブリッジング マネージャ デバッグ メッセージが表示されます。

undebg platform fallback-bridging コマンドは、**no debug platform fallback-bridging** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform forw-tcam

フォワーディング Ternary CAM (TCAM) マネージャのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform forw-tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform forw-tcam [adjustment | allocate | audit | error | move | read | write]

no debug platform forw-tcam [adjustment | allocate | audit | error | move | read | write]

シンタックスの説明	調整	説明
	adjustment	(任意) TCAM マネージャ調整デバッグ メッセージを表示します。
	allocate	(任意) TCAM マネージャ割り当てデバッグ メッセージを表示します。
	audit	(任意) TCAM マネージャ監査デバッグ メッセージを表示します。
	error	(任意) TCAM マネージャ エラーデバッグ メッセージを表示します。
	move	(任意) TCAM マネージャ移動デバッグ メッセージを表示します。
	read	(任意) TCAM マネージャ読み取りデバッグ メッセージを表示します。
	write	(任意) TCAM マネージャ書き込みデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン キーワードを指定しない場合、すべてのフォワーディング TCAM マネージャ デバッグ メッセージが表示されます。

undebg platform forw-tcam コマンドは、**no debug platform forw-tcam** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform ip arp inspection

ダイナミック Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) インスペクション イベントをデバッグするには、**debug platform ip arp inspection** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform ip arp inspection {all | error | event | packet | rpc}

no debug platform ip arp inspection {all | error | event | packet | rpc}

シンタックスの説明

all	すべてのダイナミック ARP インスペクションのデバッグ メッセージを表示します。
error	ダイナミック ARP インスペクションのエラー デバッグ メッセージを表示します。
event	ダイナミック ARP インスペクションのイベント デバッグ メッセージを表示します。
packet	ダイナミック ARP インスペクションのパケット関連デバッグ メッセージを表示します。
rpc	ダイナミック ARP インスペクションの Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 要求デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)EY	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform ip arp inspection コマンドは、**no debug platform ip arp inspection** コマンドと同じです。

デバッグをイネーブルにした場合、スタック マスターでのみイネーブルになります。スタック メンバーでデバッグをイネーブルにするには、**session switch-number** 特権 EXEC コマンドを使用して、スタック マスターからセッションを起動します。次に、スタック メンバーのコマンドラインプロンプトで **debug** コマンドを入力します。また、スタック マスター スイッチで **remote command stack-member-number LINE** 特権 EXEC コマンドを使用すると、最初にセッションを起動しなくても、メンバー スイッチでデバッグをイネーブルにできます。

関連コマンド

コマンド	説明
show ip arp inspection	ダイナミック ARP インスペクションの設定および動作ステータスを表示します。
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug platform ip igmp snooping

プラットフォームに依存する Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) スヌーピングのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform ip igmp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform ip igmp snooping {all | di | error | event | group | mgmt | pak | retry | rpc | warn}
```

```
debug platform ip igmp snooping di [grant | leave | rx | sync | tx | ucast]
```

```
debug platform ip igmp snooping pak {ip-address | error | ipopt | leave | query | report | rx | svi | tx}
```

```
debug platform ip igmp snooping rpc [cfg | l3mm | misc | vlan]
```

```
no debug platform ip igmp snooping {all | di | error | event | group | mgmt | pak | retry | rpc | warn}
```

シンタックスの説明

all	すべての IGMP スヌーピング デバッグ メッセージを表示します。
di	IGMP スヌーピング Destination Index (DI) 調整 Remote Procedure Call (RPC; リモートプロシージャコール) デバッグ メッセージを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • grant — (任意) すべての IGMP スヌーピング認可要求 RPC イベントを表示します。 • leave — (任意) すべての IGMP スヌーピング脱退要求 RPC イベントを表示します。 • rx — (任意) すべての IGMP スヌーピング DI 受信 RPC メッセージを表示します。 • sync — (任意) すべての IGMP スヌーピング DI 同期更新メッセージを表示します。 • tx — (任意) すべての IGMP スヌーピング DI 送信 RPC メッセージを表示します。 • ucast — (任意) すべての IGMP スヌーピング DI ユニキャスト要求 RPC メッセージを表示します。
error	IGMP スヌーピング エラー メッセージを表示します。
event	IGMP スヌーピング イベント デバッグ メッセージを表示します。
group	IGMP スヌーピング グループ デバッグ メッセージを表示します。
mgmt	IGMP スヌーピング管理デバッグ メッセージを表示します。

pak { <i>ip-address</i> error ipopt leave query report rx svi tx }	IGMP スヌーピング パケット イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <i>ip-address</i> — IGMP グループの IP アドレス error — IGMP スヌーピング パケット エラー デバッグ メッセージを表示します。 ipopt — IGMP スヌーピング IP ブリッジング オプション デバッグ メッセージを表示します。 leave — IGMP スヌーピング脱退デバッグ メッセージを表示します。 query — IGMP スヌーピング クエリー デバッグ メッセージを表示します。 report — IGMP スヌーピング レポート デバッグ メッセージを表示します。 rx — IGMP スヌーピング受信パケット デバッグ メッセージを表示します。 svi — IGMP スヌーピング Switched Virtual Interface (SVI) パケット デバッグ メッセージを表示します。 tx — IGMP スヌーピング送信パケット デバッグ メッセージを表示します。
retry	IGMP スヌーピング リトライ デバッグ メッセージを表示します。
rpc [cfg l3mm misc vlan]	IGMP スヌーピング Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャコール) イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> cfg — (任意) IGMP スヌーピング RPC デバッグ メッセージを表示します。 l3mm — (任意) IGMP スヌーピング レイヤ3 マルチキャスト ルータ グループ RPC メッセージ misc — (任意) IGMP スヌーピング各種 RPC デバッグ メッセージ vlan — (任意) IGMP スヌーピング VLAN (仮想 LAN) アサート RPC デバッグ メッセージ
warn	IGMP スヌーピング警告メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebug platform ip igmp snooping` コマンドは、`no debug platform ip igmp snooping` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>debug ip igmp snooping</code>	プラットフォーム独立 IGMP スヌーピング アクティビティに関する情報を表示します。
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform ip multicast

IP マルチキャスト ルーティングのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform ip multicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform ip multicast {all | mdb | mdfs-rp-retry | midb | mroute-rp | resources | retry |
rpf-throttle | snoop-events | software-forward | swidb-events | vlan-locks}
```

```
no debug platform ip multicast {all | mdb | mdfs-rp-retry | midb | mroute-rp | resources | retry |
rpf-throttle | snoop-events | software-forward | swidb-events | vlan-locks}
```

シンタックスの説明

all	すべてのプラットフォーム IP マルチキャスト イベント デバッグ メッセージを表示します。
	 <p>(注) このコマンドを使用すると、スイッチのパフォーマンスが低下する場合があります。</p>
mdb	Multicast Distributed Fast Switching (MDFS) Multicast Descriptor Block (MDB) イベント用 IP マルチキャスト デバッグ メッセージを表示します。
mdfs-rp-retry	IP マルチキャスト MDFS Rendezvous Point (RP; ランデブー ポイント) リトライ イベント デバッグ メッセージを表示します。
midb	IP マルチキャスト MDFS Multicast Interface Descriptor Block (MIDB) デバッグ メッセージを表示します。
mroute-rp	IP マルチキャスト RP イベント デバッグ メッセージを表示します。
resources	IP マルチキャスト ハードウェア リソース デバッグ メッセージを表示します。
retry	IP マルチキャスト リトライ処理イベント デバッグ メッセージを表示します。
rpf-throttle	IP マルチキャスト Reverse Path Forwarding (RPF) スロットル イベント デバッグ メッセージを表示します。
snoop-events	IP マルチキャスト Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) スヌーピング イベント デバッグ メッセージを表示します。
software-forward	IP マルチキャスト ソフトウェア フォワーディング イベント デバッグ メッセージを表示します。
swidb-events	IP マルチキャスト MDFS Software Interface Descriptor Block (SWIDB) またはグローバル イベント デバッグ メッセージを表示します。
vlan-locks	IP マルチキャスト VLAN (仮想 LAN) ロックおよびアンロック イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

`undebug platform ip multicast` コマンドは、`no debug platform ip multicast` コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug platform ip unicast

プラットフォームに依存する IP ユニキャスト ルーティングのデバッグをイネーブルにするには、`debug platform ip unicast` 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの `no` 形式を使用します。

```
debug platform ip unicast {adjacency | all | arp | dhcp | errors | events | interface | mpath | registries
| retry | route | rpc | standby | statistics}
```

```
no debug platform ip unicast {adjacency | all | arp | dhcp | errors | events | interface | mpath |
registries | retry | route | rpc | standby | statistics}
```

シンタックスの説明

<code>adjacency</code>	IP ユニキャスト ルーティング隣接プログラミング イベント デバッグ メッセージを表示します。
<code>all</code>	すべてのプラットフォーム IP ユニキャスト ルーティング デバッグ メッセージを表示します。
	 (注) このコマンドを使用すると、スイッチのパフォーマンスが低下する場合があります。
<code>arp</code>	IP ユニキャスト ルーティング Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) および ARP スロットリング デバッグ メッセージを表示します。
<code>dhcp</code>	IP ユニキャスト ルーティング DHCP ダイナミック アドレス関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
<code>errors</code>	リソース割り当て障害を含むすべての IP ユニキャスト ルーティング エラー デバッグ メッセージを表示します。
<code>events</code>	レジストリおよび各種イベントを含むすべての IP ユニキャスト ルーティング イベント デバッグ メッセージを表示します。
<code>interface</code>	IP ユニキャスト ルーティング インターフェイス イベント デバッグ メッセージを表示します。
<code>mpath</code>	(等価または不等価コスト ルーティングを実行する場合に存在する) IP ユニキャスト ルーティング マルチパス隣接プログラミング イベント デバッグ メッセージを表示します。
<code>registries</code>	IP ユニキャスト ルーティング Forwarding Information Base (FIB; 転送情報ベース)、隣接追加、更新、および削除レジストリ イベント デバッグ メッセージを表示します。
<code>retry</code>	IP ユニキャスト ルーティング再プログラム FIB を Ternary CAM (TCAM) 割り当て障害 デバッグ メッセージとともに表示します。
<code>route</code>	IP ユニキャスト ルーティング FIB TCAM プログラミング イベント デバッグ メッセージを表示します。

rpc	IP ユニキャスト ルーティング レイヤ 3 ユニキャスト Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 対話デバッグ メッセージを表示します。
standby	IP ユニキャスト ルーティング スタンバイ イベント デバッグ メッセージを表示します。これは、Hot Standby Routing Protocol (HSRP) 問題の解決に役立ちます。
statistics	IP ユニキャスト ルーティング 統計収集 関連 イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebug platform ip unicast` コマンドは、`no debug platform ip unicast` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform led

LED アクションのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform led** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform led {generic | signal}
```

```
no debug platform led {generic | signal}
```

シンタックスの説明

generic	LED 総称アクションデバッグ メッセージを表示します。
signal	LED 信号ビットマップ デバッグ メッセージを表示します。



(注)

stack キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebbug platform led コマンドは、**no debug platform led** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform matm

プラットフォームに依存する MAC（メディア アクセス制御）アドレス管理のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform matm** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform matm {aging | all | ec-aging | errors | learning | rpc | secure-address | warnings}
```

```
no debug platform matm {aging | all | ec-aging | errors | learning | rpc | secure-address | warnings}
```

シンタックスの説明		
aging	MAC アドレス エージング デバッグ メッセージを表示します。	
all	すべてのプラットフォーム MAC アドレス管理イベント デバッグ メッセージを表示します。	
ec-aging	EtherChannel アドレス エージング関連デバッグ メッセージを表示します。	
errors	MAC アドレス管理エラー デバッグ メッセージを表示します。	
learning	MAC アドレス管理アドレス学習デバッグ メッセージを表示します。	
rpc	MAC アドレス管理 Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 関連デバッグ メッセージを表示します。	
secure-address	MAC アドレス管理セキュア アドレス学習デバッグ メッセージを表示します。	
warning	MAC アドレス管理警告デバッグ メッセージを表示します。	

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug platform matm** コマンドは、**no debug platform matm** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	debug matm	プラットフォーム独立 MAC アドレス管理に関する情報を表示します。
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform messaging application

アプリケーション メッセージング アクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform messaging application** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform messaging application {all | badpak | cleanup | events | memerr | messages | usererr}
no debug platform messaging application {all | badpak | cleanup | events | memerr | messages |
usererr}
```

シンタックスの説明

all	すべてのアプリケーション メッセージング デバッグ メッセージを表示します。
badpak	不良パケット デバッグ メッセージを表示します。
cleanup	クリーンアップ デバッグ メッセージを表示します。
events	イベント デバッグ メッセージを表示します。
memerr	メモリ エラー デバッグ メッセージを表示します。
messages	アプリケーション メッセージング デバッグ メッセージを表示します。
usererr	ユーザ エラー デバッグ メッセージを表示します。



(注)

stackchg キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform messaging application コマンドは、**no debug platform messaging application** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform mpls

Multiprotocol Label Switching (MPLS; マルチプロトコル ラベル スイッチング) コントロール レイヤのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform mpls** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform mpls {backwalk | encaps | errors | events | lspv | np | timer}
```

```
no debug platform mpls {backwalk | encaps | errors | events | lspv | np | timer}
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	backwalk	MPLS バックウォーク メッセージを表示します。
	encaps	MPLS カプセル化メッセージを表示します。
	errors	MPLS エラー メッセージを表示します。
	events	すべての MPLS イベント メッセージを表示します。
	lspv	MPLS Label-Switched Path Verification (LSPV) メッセージを表示します。
	np	MPLS Network Processor (NP) メッセージを表示します。
	timer	MPLS タイマー メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(37)SE	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug platform mpls** コマンドは、**no debug platform mpls** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform phy

PHY（物理サブレイヤ）ドライバ情報のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform phy** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform phy {automdix | flowcontrol | forced | init-seq | link-status | read | sfp |
show-controller | speed | write}
```

```
no debug platform phy {automdix | flowcontrol | forced | init-seq | link-status | read | sfp |
show-controller | speed | write}
```

シンタックスの説明

automdix	PHY Automatic Media-Dependent-Interface Crossover (Auto-MDIX) デバッグ メッセージを表示します。
flowcontrol	PHY フロー制御デバッグ メッセージを表示します。
forced	PHY 強制モード デバッグ メッセージを表示します。
init-seq	PHY 初期化シーケンス デバッグ メッセージを表示します。
link-status	PHY リンク ステータス デバッグ メッセージを表示します。
read	PHY 読み取りデバッグ メッセージを表示します。
sfp	PHY Small Form-factor Pluggable (SFP; 着脱可能小型フォーム ファクタ) モジュール デバッグ メッセージを表示します。
show-controller	PHY ショー コントローラ デバッグ メッセージを表示します。
speed	PHY 速度変更デバッグ メッセージを表示します。
write	PHY 書き込みデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform phy コマンドは、**no debug platform phy** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug platform pm

プラットフォームに依存するポート マネージャ ソフトウェア モジュールのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform pm** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform pm {all | atom | counters | errdisable | etherchnl | exceptions | hpm-events | idb-events
| if-numbers | ios-events | link-status | platform | pm-events | pm-vectors [detail] | rpc [general |
oper-info | state | vectors | vp-events] | soutput | sync | vlans}
```

```
no debug platform pm {all | atom | counters | errdisable | etherchnl | exceptions | hpm-events |
idb-events | if-numbers | ios-events | link-status | platform | pm-events | pm-vectors [detail] | rpc
[general | oper-info | state | vectors | vp-events] | soutput | sync | vlans}
```

シンタックスの説明

all	すべてのポート マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
atom	ポート マネージャ Any Transport over MPLS (AToM) 関連デバッグ メッセージを表示します。
counters	Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージのカウントを表示します。
errdisable	errdisable 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
etherchnl	EtherChannel 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
exceptions	システム例外デバッグ メッセージを表示します。
hpm-events	プラットフォーム ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
idb-events	Interface Descriptor Block (IDB) 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
if-numbers	インターフェイス番号トランスレーション イベント デバッグ メッセージを表示します。
ios-events	Cisco IOS イベント デバッグ メッセージを表示します。
link-status	インターフェイス リンク検出イベント デバッグ メッセージを表示します。
platform	ポート マネージャ機能イベント デバッグ メッセージを表示します。
pm-events	ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
pm-vectors [detail]	ポート マネージャ ベクタ関連イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> detail — ベクタ機能詳細を表示します。
rpc [general oper-info state vectors vp-events]	RPC 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> general — (任意) RPC 一般イベントを表示します。 oper-info — (任意) 操作および情報関連 RPC メッセージを表示します。 state — (任意) 管理および操作関連 RPC メッセージを表示します。 vectors — (任意) ベクタ関連 RPC メッセージを表示します。 vp-events — (任意) 仮想ポート関連イベント RPC メッセージを表示します。
soutput	IDB 出力ベクタ イベント デバッグ メッセージを表示します。
sync	操作同期および VLAN (仮想 LAN) ラインステート イベント デバッグ メッセージを表示します。
vlans	VLAN 作成および削除イベント デバッグ メッセージを表示します。

■ debug platform pm



(注) **stack-manager** キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebbug platform pm` コマンドは、`no debug platform pm` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug platform port-asic

ポート Application Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け IC) ドライバのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform port-asic** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform port-asic {interrupt | periodic | read | write}
```

```
no debug platform port-asic {interrupt | periodic | read | write}
```

シンタックスの説明

interrupt	ポート ASIC 割り込み関連機能デバッグ メッセージを表示します。
periodic	ポート ASIC 定期機能コール デバッグ メッセージを表示します。
read	ポート ASIC 読み取りデバッグ メッセージを表示します。
write	ポート ASIC 書き込みデバッグ メッセージを表示します。



(注)

stack キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtring には表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform port-asic コマンドは、**no debug platform port-asic** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform port-security

プラットフォームに依存するポートセキュリティ情報のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform port-security** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform port-security {add | aging | all | delete | errors | rpc | warnings}
```

```
no debug platform port-security {add | aging | all | delete | errors | rpc | warnings}
```

シンタックスの説明

add	セキュア アドレス追加デバッグ メッセージを表示します。
aging	セキュア アドレス エージング デバッグ メッセージを表示します。
all	すべてのポートセキュリティ デバッグ メッセージを表示します。
delete	セキュア アドレス削除デバッグ メッセージを表示します。
errors	ポートセキュリティ エラー デバッグ メッセージを表示します。
rpc	Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージを表示します。
warnings	警告デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform port-security コマンドは、**no debug platform port-security** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform qos-acl-tcam

QoS (Quality Of Service) and Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) Ternary CAM (TCAM) マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform qos-acl-tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform qos-acl-tcam {all | ctcam | errors | labels | mask | rpc | tcam}
```

```
no debug platform qos-acl-tcam {all | ctcam | errors | labels | mask | rpc | tcam}
```

シンタックスの説明

all	すべての QATM マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
ctcam	Cisco TCAM 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
errors	QATM エラー関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
labels	QATM ラベル関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
mask	QATM マスク関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
rpc	QATM Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
tcam	QATM TCAM 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform qos-acl-tcam コマンドは、**no debug platform qos-acl-tcam** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform remote-commands

リモート コマンドのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform remote-commands** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform remote-commands

no debug platform remote-commands

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug platform remote-commands** コマンドは、**no debug platform remote-commands** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform resource-manager

リソース マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform resource-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform resource-manager {all | dm | erd | errors | madmed | sd | stats | vld}
```

```
no debug platform resource-manager {all | dm | erd | errors | madmed | sd | stats | vld}
```

シンタックスの説明	
all	すべてのリソース マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
dm	宛先マップ デバッグ メッセージを表示します。
erd	等価コスト ルート記述子テーブル デバッグ メッセージを表示します。
errors	エラー デバッグ メッセージを表示します。
madmed	MAC (メディア アクセス制御) アドレス記述子テーブルおよびマルチエクスパンション記述子テーブル デバッグ メッセージを表示します。
sd	ステーション記述子テーブル デバッグ メッセージを表示します。
stats	統計デバッグ メッセージを表示します。
vld	VLAN リスト記述子デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug platform resource-manager** コマンドは、**no debug platform resource-manager** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform snmp

プラットフォームに依存する SNMP（簡易ネットワーク管理プロトコル）ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform snmp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform snmp

no debug platform snmp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebg platform snmp** コマンドは、**no debug platform snmp** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。

debug platform span

プラットフォームに依存する Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform span** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug platform span

no debug platform span

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebg platform span** コマンドは、**no debug platform span** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform supervisor-asic

スーパーバイザ Application Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け IC) のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform supervisor-asic** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform supervisor-asic {all | errors | receive | send}
```

```
no debug platform supervisor-asic {all | errors | receive | send}
```

シンタックスの説明

all	すべてのスーパーバイザ ASIC イベント デバッグ メッセージを表示します。
errors	スーパーバイザ ASIC エラー デバッグ メッセージを表示します。
receive	スーパーバイザ ASIC 受信デバッグ メッセージを表示します。
send	スーパーバイザ ASIC 送信デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform supervisor-asic コマンドは、**no debug platform supervisor-asic** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform sw-bridge

ソフトウェアブリッジング機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug platform sw-bridge** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform sw-bridge {broadcast | control | multicast | packet | unicast}
```

```
no debug platform sw-bridge {broadcast | control | multicast | packet | unicast}
```

シンタックスの説明

broadcast	ブロードキャストデータ デバッグ メッセージを表示します。
control	プロトコル パケット デバッグ メッセージを表示します。
multicast	マルチキャスト データ デバッグ メッセージを表示します。
packet	送受信データ デバッグ メッセージを表示します。
unicast	ユニキャスト データ デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebbug platform sw-bridge コマンドは、**no debug platform sw-bridge** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform tcam

Ternary CAM (TCAM) アクセスおよびルックアップのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform tcam {log | read | search | write}
debug platform tcam log l2 {acl {input | output} | local | qos}
debug platform tcam log l3 {acl {input | output} | ipv6 {acl {input | output} | local | qos | secondary}
| local | qos | secondary}
debug platform tcam read {reg | ssram | tcam}
debug platform tcam search
debug platform tcam write {forw-ram | reg | tcam}
no debug platform tcam {log | read | search | write}
no debug platform tcam log l2 {acl {input | output} | local | qos}
no debug platform tcam log l3 {acl {input | output} | ipv6 {acl {input | output} | local | qos |
secondary} | local | qos | secondary}
no debug platform tcam read {reg | ssram | tcam}
no debug platform tcam search
no debug platform tcam write {forw-ram | reg | tcam}
```

シンタックスの説明

log l2 {acl {input output} local qos}	レイヤ 2 フィールド ベース CAM (連想メモリ) ルックアップ タイプ デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • acl {input output} — 入力または出力 ACL ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • local — ローカル フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • qos — 分類および QoS (Quality Of Service) ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。
l3 {acl {input output} ipv6 {acl {input output} local qos secondary} local qos secondary}	レイヤ 3 フィールド ベース CAM ルックアップ タイプ デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • acl {input output} — 入力または出力 ACL ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • ipv6 {acl {input output} local qos secondary} — IPv6 ベース ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。オプションには、入力または出力 ACL ルックアップ、ローカル フォワーディング ルックアップ、および QoS ルックアップ、またはセカンダリ フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージの表示が含まれます。 • local — ローカル フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • qos — 分類および QoS (Quality Of Service) ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。 • secondary — セカンダリ フォワーディング ルックアップ デバッグ メッセージを表示します。

read {reg ssram tcam}	TCAM 読み取りデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • reg — TCAM レジスタ読み取りデバッグ メッセージを表示します。 • ssram — Synchronous Static RAM (SSRAM) 読み取りデバッグ メッセージを表示します。 • tcam — TCAM 読み取りデバッグ メッセージを表示します。
search	スーパーバイザ主導 TCAM サーチ結果デバッグ メッセージを表示します。
write {forw-ram reg tcam}	TCAM 書き込みデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <p>forw-ram — フォワーディング RAM 書き込みデバッグ メッセージを表示します。</p> <p>reg — TCAM レジスタ書き込みデバッグ メッセージを表示します。</p> <p>tcam — TCAM 書き込みデバッグ メッセージを表示します。</p>

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebug platform tcam` コマンドは、`no debug platform tcam` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform uddl

プラットフォームに依存する Unidirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform uddl** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform uddl [all | error | rpc {events | messages}]
```

```
no debug platform uddl [all | error | rpc {events | messages}]
```

シンタックスの説明

all	(任意) UDLD デバッグ メッセージをすべて表示します。
error	(任意) エラー条件デバッグ メッセージを表示します。
rpc {events messages}	(任意) UDLD Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> events — UDLD RPC イベントを表示します。 messages — UDLD RPC メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug platform uddl コマンドは、**no debug platform uddl** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug platform vlan

VLAN（仮想 LAN）マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug platform vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug platform vlan {errors | mvid | rpc}
```

```
no debug platform vlan {errors | mvid | rpc}
```

シンタックスの説明		
errors		VLAN エラー デバッグ メッセージを表示します。
mvid		マッピングされた VLAN ID の割り当ておよびフリー デバッグ メッセージを表示します。
rpc		Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug platform vlan** コマンドは、**no debug platform vlan** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug pm

Port Manager (PM) のアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug pm** 特権 EXEC コマンドを使用します。ポート マネージャは、すべての論理および物理ポートを制御するステートマシンです。VLAN (仮想 LAN) や Unidirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) などを含むすべての機能は、ポート マネージャと連携して、スイッチに機能を提供します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug pm {all | assert | card | cookies | etherchnl | hatable | messages | port | registry | sm | span | split |
vlan | vp}
```

```
no debug pm {all | assert | card | cookies | etherchnl | hatable | messages | port | registry | sm | span |
split | vlan | vp}
```

シンタックスの説明

all	すべての PM デバッグ メッセージを表示します。
assert	アサート デバッグ メッセージを表示します。
card	ラインカード関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
cookies	内部 PM クッキー確認 デバッグ メッセージを表示します。
etherchnl	EtherChannel 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
hatable	Host Access Table イベント デバッグ メッセージを表示します。
messages	PM デバッグ メッセージを表示します。
port	ポート関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
registry	PM レジストリ呼び出し デバッグ メッセージを表示します。
sm	ステートマシン関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
span	スパンニングツリー関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
split	スプリットプロセッサ デバッグ メッセージを表示します。
vlan	VLAN 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
vp	仮想ポート関連イベント デバッグ メッセージを表示します。



(注)

scp および **pvlan** キーワードはコマンドラインのヘルプ スtring に表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug pm コマンドは、**no debug pm** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug port-security

ポートセキュリティサブシステムの割り当ておよびステータスのデバッグをイネーブルにするには、**debug port-security** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug port-security

no debug port-security

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug port-security** コマンドは、**no debug port-security** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。
	show port-security	インターフェイスまたはスイッチのポートセキュリティ設定を表示します。

debug qos-manager

QoS (Quality Of Service) マネージャ ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug qos-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug qos-manager {all | event | verbose}
```

```
no debug qos-manager {all | event | verbose}
```

シンタックスの説明	all	すべての QoS マネージャ デバッグ メッセージを表示します。
	event	QoS マネージャ 関連イベント デバッグ メッセージを表示します。
	verbose	QoS マネージャ 詳細デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug qos-manager** コマンドは、**no debug qos-manager** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug spanning-tree

スパニングツリーのアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree {all | backbonefast | bpdu | bpdu-opt | config | etherchannel | events | exceptions
| general | mstp | pvst+ | root | snmp | switch | synchronization | uplinkfast}
```

```
no debug spanning-tree {all | backbonefast | bpdu | bpdu-opt | config | etherchannel | events |
exceptions | general | mstp | pvst+ | root | snmp | switch | synchronization | uplinkfast}
```

シンタックスの説明

all	スパニングツリーのデバッグ メッセージをすべて表示します。
backbonefast	BackboneFast イベント デバッグ メッセージを表示します。
bpdu	スパニングツリーの Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジ プロトコル データ ユニット) デバッグ メッセージを表示します。
bpdu-opt	最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。
config	スパニングツリー設定変更デバッグ メッセージを表示します。
etherchannel	EtherChannel サポート デバッグ メッセージを表示します。
events	スパニングツリー トポロジ イベント デバッグ メッセージを表示します。
exceptions	スパニングツリー例外デバッグ メッセージを表示します。
general	一般スパニングツリー アクティビティ デバッグ メッセージを表示します。
mstp	Multiple Spanning-Tree Protocol (MSTP) イベントをデバッグします。
pvst+	Per-VLAN (仮想 LAN) Spanning-Tree Plus (PVST+) イベント デバッグ メッセージを表示します。
root	スパニングツリー ルート イベント デバッグ メッセージを表示します。
snmp	スパニングツリーの SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) 処理デバッグ メッセージを表示します。
synchronization	スパニングツリー同期イベント デバッグ メッセージを表示します。
switch	スイッチ シム コマンド デバッグ メッセージを表示します。このシムは、一般的な Spanning-Tree Protocol (STP; スパニングツリープロトコル) コードと、各スイッチ プラットフォーム固有コードとの間のインターフェイスとなるソフトウェア モジュールです。
uplinkfast	UplinkFast イベント デバッグ メッセージを表示します。



(注)

csuf/csrt キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されていますが、サポートされていません。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebug spanning-tree` コマンドは、`no debug spanning-tree` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。
	<code>show spanning-tree</code>	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree backbonefast

スパニングツリー BackboneFast イベントのデバッグをイネーブルにするには、`debug spanning-tree backbonefast` 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの `no` 形式を使用します。

`debug spanning-tree backbonefast [detail | exceptions]`

`no debug spanning-tree backbonefast [detail | exceptions]`

シンタックスの説明	detail	(任意) BackboneFast デバッグ メッセージの詳細を表示します。
	<code>exceptions</code>	(任意) スパニングツリー BackboneFast 例外デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebug spanning-tree backbonefast` コマンドは、`no debug spanning-tree backbonefast` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグタイプに関する情報を表示します。
	<code>show spanning-tree</code>	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree bpdu

送受信されたスパニングツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジプロトコルデータユニット) のデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree bpdu** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree bpdu [receive | transmit]

no debug spanning-tree bpdu [receive | transmit]

シンタックスの説明	receive	(任意) 受信 BPDU 用非最適化パスのデバッグ メッセージを表示します。
	transmit	(任意) 送信 BPDU 用非最適化パスのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug spanning-tree bpdu** コマンドは、**no debug spanning-tree bpdu** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree bpdu-opt

最適化されたスパニングツリー Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジプロトコルデータユニット) 処理のデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree bpdu-opt** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree bpdu-opt [detail | packet]

no debug spanning-tree bpdu-opt [detail | packet]

シンタックスの説明	detail	(任意) 最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージの詳細を表示します。
	packet	(任意) パケット レベルの最適化された BPDU 処理デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug spanning-tree bpdu-opt** コマンドは、**no debug spanning-tree bpdu-opt** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree mstp

Multiple Spanning-Tree Protocol (MSTP) ソフトウェアのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree mstp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug spanning-tree mstp {all | boundary | bpdu-rx | bpdu-tx | errors | flush | init | migration | pm | proposals | region | roles | sanity_check | sync | tc | timers}
```

```
no debug spanning-tree mstp {all | boundary | bpdu-rx | bpdu-tx | errors | flush | init | migration | pm | proposals | region | roles | sanity_check | sync | tc | timers}
```

シンタックスの説明

all	すべての MSTP デバッグ メッセージを表示します。
boundary	次に示す境界上でのフラグ変更デバッグ メッセージを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> Rapid Spanning-Tree Protocol (RSTP) が稼働する Multiple Spanning-Tree (MST) リージョンおよび単一スパニングツリー リージョンとの境界 802.1D が稼働する MST リージョンと単一のスパニングツリー リージョンとの境界 MST リージョンと、設定が異なる別の MST リージョンとの境界
bpdu-rx	受信した MST の Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジプロトコル データ ユニット) デバッグ メッセージを表示します。
bpdu-tx	送信された MST BPDU デバッグ メッセージを表示します。
errors	MSTP エラー デバッグ メッセージを表示します。
flush	ポートフラッシュメカニズムのデバッグ メッセージを表示します。
init	MSTP データ構造初期化のデバッグ メッセージを表示します。
migration	プロトコル移行ステートマシン デバッグ メッセージを表示します。
pm	MSTP ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
proposals	指定スイッチのデバッグ メッセージとルート スイッチのデバッグ メッセージ間のハンドシェイク メッセージを表示します。
region	Switch Processor (SP; スイッチ プロセッサ) デバッグ メッセージと Route Processor (RP; ルート プロセッサ) デバッグ メッセージ間のリージョン同期を表示します。
roles	MSTP ロール デバッグ メッセージを表示します。
sanity_check	受信した BPDU の正常性確認デバッグ メッセージを表示します。
sync	ポート同期イベント デバッグ メッセージを表示します。
tc	トポロジ変更通知イベント デバッグ メッセージを表示します。
timers	開始、停止、および期限切れイベントの MSTP タイマーのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebg spanning-tree mstp` コマンドは、`no debug spanning-tree mstp` コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
<code>show spanning-tree</code>	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree switch

Spanning-Tree Protocol (STP; スパニングツリー プロトコル) ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のソフトウェア インターフェイスのデバッグをイネーブルにするには、`debug spanning-tree switch` 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの `no` 形式を使用します。

```
debug spanning-tree switch {all | errors | flush | general | helper | pm | rx {decode | errors | interrupt | process} | state | tx [decode] | uplinkfast}
```

```
no debug spanning-tree switch {all | errors | flush | general | helper | pm | rx {decode | errors | interrupt | process} | state | tx [decode] | uplinkfast}
```

シンタックスの説明

all	スパニングツリー スイッチのデバッグ メッセージをすべて表示します。
errors	スパニングツリー ソフトウェア モジュールとポート マネージャ ソフトウェア モジュール間のインターフェイスに関するデバッグ メッセージを表示します。
flush	シム フラッシュ動作デバッグ メッセージを表示します。
general	一般イベント デバッグ メッセージを表示します。
helper	スパニングツリー ヘルパータスク デバッグ メッセージを表示します。ヘルパータスクは、バルク スパニングツリー更新を処理します。
pm	ポート マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
rx	受信した Bridge Protocol Data Unit (BPDU; ブリッジプロトコル データ ユニット) 処理のデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> decode — デコード済み受信パケットを表示します。 errors — 受信エラー デバッグ メッセージを表示します。 interrupt — Interrupt Service Request (ISR) デバッグ メッセージを表示します。 process — 処理受信 BPDU デバッグ メッセージを表示します。
state	スパニングツリー ポートステート変更デバッグ メッセージを表示します。
tx [decode]	送信された BPDU 処理のデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> decode — (任意) デコード済み送信パケットを表示します。
uplinkfast	UplinkFast パケット送信デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebg spanning-tree switch** コマンドは、**no debug spanning-tree switch** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug spanning-tree uplinkfast

スパニングツリー UplinkFast イベントのデバッグをイネーブルにするには、**debug spanning-tree uplinkfast** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

debug spanning-tree uplinkfast [exceptions]

no debug spanning-tree uplinkfast [exceptions]

シンタックスの説明	exceptions	(任意) スパニングツリー UplinkFast 例外デバッグ メッセージを表示します。
-----------	------------	--

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebg spanning-tree uplinkfast** コマンドは、**no debug spanning-tree uplinkfast** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show spanning-tree	スパニングツリー ステート情報を表示します。

debug sw-vlan

VLAN (仮想 LAN) マネージャのアクティビティのデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan {badpmcookies | cfg-vlan {bootup | cli} | events | ifs | management | notification |
  packets | registries | vtp}
```

```
no debug sw-vlan {badpmcookies | cfg-vlan {bootup | cli} | events | ifs | management | notification |
  packets | registries | vtp}
```

シンタックスの説明

badpmcookies	不良ポート マネージャ クッキーの VLAN マネージャ インシデントのデバッグ メッセージを表示します。
cfg-vlan {bootup cli}	config-vlan デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> bootup — スイッチがブートアップするときにメッセージを表示します。 cli — CLI (コマンドライン インターフェイス) が config-vlan モードのときにメッセージを表示します。
events	VLAN マネージャ イベント デバッグ メッセージを表示します。
ifs	debug sw-vlan ifs コマンドを参照してください。
management	内部 VLAN の VLAN マネージャ管理のデバッグ メッセージを表示します。
notification	debug sw-vlan notification コマンドを参照してください。
packets	パケット処理およびカプセル化プロセスのデバッグ メッセージを表示します。
registries	VLAN マネージャ レジストリ デバッグ メッセージを表示します。
vtp	debug sw-vlan vtp コマンドを参照してください。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan コマンドは、**no debug sw-vlan** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show vlan	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。
show vtp	VTP 管理ドメイン、ステータス、およびカウンタに関する一般情報を表示します。

debug sw-vlan ifs

VLAN (仮想 LAN) マネージャ Cisco IOS File System (IFS) エラー テストのデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan ifs** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan ifs {open {read | write} | read {1 | 2 | 3 | 4} | write}
```

```
no debug sw-vlan ifs {open {read | write} | read {1 | 2 | 3 | 4} | write}
```

シンタックスの説明	
open {read write}	VLAN マネージャ IFS ファイルオープン操作デバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> read — VLAN マネージャ IFS ファイル読み取り操作デバッグ メッセージを表示します。 write — VLAN マネージャ IFS ファイル書き込み操作デバッグ メッセージを表示します。
read {1 2 3 4}	指定されたエラー テスト (1、2、3、または 4) のファイル読み取り操作デバッグ メッセージを表示します。
write	ファイル書き込み操作デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug sw-vlan ifs** コマンドは、**no debug sw-vlan ifs** コマンドと同じです。

ファイルの読み取り処理に処理 **1** を指定すると、ヘッダー検証ワードおよびファイルバージョン番号が格納されたファイルヘッダーが読み取られます。処理 **2** を指定すると、ドメインおよび VLAN 情報の大部分が格納されたファイル本体が読み取られます。処理 **3** を指定すると、Type Length Version (TLV) 記述子構造が読み取られます。処理 **4** を指定すると、TLV データが読み取られます。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	show vlan	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。

debug sw-vlan notification

ISL（スイッチ間リンク）VLAN（仮想 LAN）ID のアクティブ化および非アクティブ化のデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan notification** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan notification {acbfdchange | allowedvlanfchange | fwdchange | linkchange |
modechange | pruningfchange | statechange}
```

```
no debug sw-vlan notification {acbfdchange | allowedvlanfchange | fwdchange | linkchange |
modechange | pruningfchange | statechange}
```

シンタックスの説明

acbfdchange	集約アクセス インターフェイス スパニングツリー フォワード変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
allowedvlanfchange	許可 VLAN の設定変更に関する VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
fwdchange	スパニングツリー フォワーディング変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
linkchange	インターフェイス リンクステート変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
modechange	インターフェイス モード変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
pruningfchange	プルーニング設定変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。
statechange	インターフェイス ステート変更の VLAN マネージャ通知のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan notification コマンドは、**no debug sw-vlan notification** コマンドと同じです。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show vlan	管理ドメインに設定されたすべての VLAN または特定の VLAN (VLAN 名または ID を指定した場合) のパラメータを表示します。

debug sw-vlan vtp

VLAN Trunking Protocol (VTP; VLAN トランッキング プロトコル) コードのデバッグをイネーブルにするには、**debug sw-vlan vtp** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug sw-vlan vtp {events | packets | pruning [packets | xmit] | xmit}
```

```
no debug sw-vlan vtp {events | packets | pruning | xmit}
```

シンタックスの説明

events	汎用の論理フローのデバッグ メッセージおよび VTP コード内の VTP_LOG_RUNTIME マクロによって生成された VTP メッセージの詳細を表示します。
packets	Cisco IOS VTP プラットフォームに依存するレイヤから VTP コードに渡されたすべての着信 VTP パケット (プルーニング パケットを除く) の内容のデバッグ メッセージを表示します。
pruning [packets xmit]	VTP コードのプルーニング セグメントによって生成されるデバッグ メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> packets — (任意)VTP プラットフォームに依存するレイヤから VTP コードに渡されたすべての着信 VTP プルーニング パケットの内容のデバッグ メッセージを表示します。 xmit — (任意) VTP コードが Cisco IOS VTP プラットフォームに依存するレイヤに送信するように要求したすべての発信 VTP パケットの内容のデバッグ メッセージを表示します。
xmit	VTP コードが VTP プラットフォームに依存するレイヤに送信するように要求したすべての発信 VTP パケット (プルーニング パケットを除く) の内容のデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト

デバッグはディセーブルです。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

undebug sw-vlan vtp コマンドは、**no debug sw-vlan vtp** コマンドと同じです。

pruning キーワードのあとにパラメータを指定しない場合は、VTP プルーニング デバッグ メッセージが表示されます。これらのメッセージは、VTP プルーニング コード内の VTP_PRUNING_LOG_NOTICE、VTP_PRUNING_LOG_INFO、VTP_PRUNING_LOG_DEBUG、VTP_PRUNING_LOG_ALERT、および VTP_PRUNING_LOG_WARNING マクロによって生成されません。

関連コマンド

コマンド	説明
show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
show vtp	VTP 管理ドメイン、ステータス、およびカウンタに関する一般情報を表示します。

debug udd

Unidirectional Link Detection (UDLD; 単方向リンク検出) 機能のデバッグをイネーブルにするには、**debug udd** 特権 EXEC コマンドを使用します。UDLD デバッグをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug udd {events | packets | registries}
```

```
no debug udd {events | packets | registries}
```

シンタックスの説明	events	UDLD プロセス イベントが発生したときのデバッグ メッセージを表示します。
	packets	UDLD プロセスがパケット キューからパケットを受信し、UDLD プロトコル コードの要求に応答してそれらを送信するときに、このプロセスのデバッグ メッセージを表示します。
	registries	UDLD プロセスが UDLD プロセスに依存するモジュールおよびその他の フィーチャ モジュールからのレジストリ コールを処理するときに、このプロセスのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebg udd** コマンドは、**no debug udd** コマンドと同じです。

debug udd events を入力すると、次に示すデバッグ メッセージが表示されます。

- 一般的な UDLD プログラム論理フロー
- ステート マシンのステート変更
- errdisable ステートの設定および消去のプログラム アクション
- 近接キャッシュの追加および削除
- コンフィギュレーションコマンドの処理
- リンクアップおよびリンクダウン通知処理

debug udd packets を入力すると、次に示すデバッグ メッセージが表示されます。

- 着信パケット受信時の一般的なパケット処理プログラム フロー
- 受信したパケットをパケット受信コードで調べるときの、各パケットの内容の識別情報 (Type Length Version [TLV] など)
- パケット送信の試行内容およびその成果

debug udd registries を入力すると、次に示すカテゴリのデバッグ メッセージが表示されます。

- サブブロックの作成
- ファイバポート ステータスの変更
- ポート マネージャ ソフトウェアからのステート変更通知情報
- MAC (メディア アクセス制御) アドレス レジストリ コール

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。
	<code>show udld</code>	すべてのポートまたは指定されたポートの UDLD 管理上および運用上のステータスを表示します。

debug vqpc

VLAN (仮想 LAN) Query Protocol (VQP) クライアントのデバッグをイネーブルにするには、`debug vqpc` 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの `no` 形式を使用します。

```
debug vqpc [all | cli | events | learn | packet]
```

```
no debug vqpc [all | cli | events | learn | packet]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<code>all</code>	(任意) VQP クライアント デバッグ メッセージをすべて表示します。
	<code>cli</code>	(任意) VQP クライアント CLI (コマンドライン インターフェイス) デバッグ メッセージを表示します。
	<code>events</code>	(任意) VQP クライアント イベント デバッグ メッセージを表示します。
	<code>learn</code>	(任意) VQP クライアント アドレス学習デバッグ メッセージを表示します。
	<code>packet</code>	(任意) VQP クライアント パケット情報デバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンド モード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン `undebug vqpc` コマンドは、`no debug vqpc` コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debugging</code>	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。

debug xconnect

Ethernet over Multiprotocol Label Switching (EoMPLS) を使用したレイヤ 2 トランスポート ルーティングのデバッグをイネーブルにするには、**debug xconnect** 特権 EXEC コマンドを使用します。デバッグをディセーブルにする場合は、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
debug xconnect {error | event}
```

```
no debug xconnect {error | event}
```

シンタックスの説明	error	xconnect 許可エラーのデバッグ メッセージを表示します。
	event	xconnect 許可イベントのデバッグ メッセージを表示します。

デフォルト デバッグはディセーブルです。

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.1(14)AX	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **undebug xconnect** コマンドは、**no debug xconnect** コマンドと同じです。

関連コマンド	コマンド	説明
	show debugging	イネーブルになっているデバッグ タイプに関する情報を表示します。